

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
 (予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	26,593,035	33,300,262	29,348,688
決算	26,317,650	33,092,512	
人件費(A)	82,400	82,400	89,400
報酬(B)	255	141	
年間経費(予算又は決算+A+B)	26,400,305	33,175,053	29,438,088

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
企業債残高(億円)	億円	1,277	目標	1,646	1,719	1,668
			実績	1,626	1,686	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・企業債残高については、静岡県西遠流域下水道の移管分(116億円)などにより、昨年比60億円の増となったが、建設改良費の削減などにより目標に対しては33億円減の1,686億円となり、償還計画に基づく経営健全化が図られた。 ・西遠コンセッションについては、5月31日に募集要項等を公表し、2者から提案を受け、3月21日に優先交渉権者を選定した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)			○	○	17,129,943	17,047,543	11.0		1.0	1.0
2	浜松市下水道事業(資本的支出)			○		12,308,145	12,301,145	1.0			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						29,438,088	29,348,688	12.0		1.0	1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。また、平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、民間活力を最大限に活用した効率的な管理・運営を実現する。

◇事業の概要

○下水道事業に係る経営管理
 ・持続可能かつ健全な経営の推進
 ○下水道事業に係る組織・人事管理
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
 ○災害対策事業
 ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施
 ○下水道の普及啓発事業
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】
 平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者運営に委ねる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	15,455,328	21,166,125	17,047,543
	決算	15,180,467	20,959,455	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,905,951	15,454,010	11,806,300
	一般会計繰入金	5,274,516	5,505,445	5,241,243
	人件費(報酬等) (千円)	255	141	
	人件費 (千円)	75,400	75,400	82,400
人工	正規	10.0	10.0	11.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0
	非常勤	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,668	1,615	1,561	1,277
実績値	1,626	1,686				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
職員定数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	110	111	109	105	105	102
実績値	110	112				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
防災訓練(研修)の実施回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	1	1	1	1	1
実績値	1	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
西遠コンセッション事業の導入						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	事業者公募開始	優先交渉権者選定	実施契約締結	コンセッション開始		
実績値	事業者公募開始	優先交渉権者選定				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○下水道事業に係る経営管理
 ・持続可能かつ健全な経営の推進
 ○下水道事業に係る組織・人事管理
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
 ○災害対策事業
 ・業務継続計画(BCP)に基づいた職員対応能力向上研修の実施
 ○下水道の普及啓発事業
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】
 平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者に運営を委ねる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、静岡県西遠流域下水道の移管分(116億円)などにより、昨年比60億円の増となったが、建設改良費の削減などにより目標に対しては33億円減の1,686億円となり、償還計画に基づく経営健全化が図られた。
 ・職員定数については、111人の目標に対して112人の実績となっているが、国派遣職員の派遣先変更によるものである(厚労省⇒総務省)。国派遣職員の派遣先変更を除けば計画通りとなっている(実績値の昨年度比1人増は、静岡県からの流域下水道の移管に伴う増によるもの)。
 ・昨年度策定した業務継続計画に基づき、被災時における職員の災害対応能力の向上を目的とした研修を実施した。
 ・西遠コンセッションについては、5月31日に募集要項等を公表し、2者から提案を受け、3月21日に優先交渉権者を選定した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度

(管理番号)

03 06 02 01 000770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

上久保 明治

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
100 133	実施方針(案)公表 実施方針公表 募集要項公表	第一次審査 第二次審査 優先交渉権者選定	契約締結 事業引継	コンセッション開始

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道事業における企業債残高の計画的な削減に取り組み、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。平成28年4月1日に静岡県から浜松市へ移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりPFI法に基づくコンセッション方式を導入し、民間活力を最大限活用した効率的な事業運営を行う。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号・取組事項名 2006 下水道事業における企業債残高の削減

取組番号・取組事項名 5004 西遠流域下水道へのコンセッション方式の導入

個別計画等 計画名等 下水道事業中期財政計画(企業債残高の削減)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	建設事業費(億円)	計画値	55.0	72.0	72.0	72.0 (H36)
		実績値	51.0	63.8		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成28年度】

建設事業費を計画値72.0億円から63.8億円にコスト縮減を図り、その結果、企業債借入が抑制され残高の削減が図られた。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	11,137,707	12,134,137	12,301,145
	決算	11,137,183	12,133,057	
	国・県支出			
	市債	2,882,900	3,144,700	3,330,900
	その他			
	一般財源	7,426,039	7,932,777	7,934,103
一般会計繰入金		828,244	1,055,580	1,036,142
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,668	1,615	1,561	1,277
実績値	1,626	1,686				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、静岡県西遠流域下水道の移管分(116億円)などにより、昨年比60億円の増となったが、建設改良費の削減などにより目標に対しては33億円減の1,686億円となり、償還計画に基づく経営健全化が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
 (予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29
予算	6,102,760	6,730,897	6,277,385
決算	6,102,760	6,561,025	
人件費(A)			
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,102,760	6,561,025	6,277,385

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	下水道会計事業出資金					1,036,142	1,036,142					
2	下水道会計事業負担金					5,241,243	5,241,243					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,277,385	6,277,385					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道会計事業出資金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	828,244	1,055,580	1,036,142
	決算	828,244	1,055,580	
	国・県支出			
	市債			
	その他	800,000	1,007,118	785,100
	一般財源	28,244	48,462	251,042
	一般会計繰入金			
	人件費(報酬等) (千円)			
	人件費 (千円)			
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 下水道会計事業負担金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,274,516	5,675,317	5,241,243
	決算	5,274,516	5,505,445	
	国・県支出			
	市債			
	その他	3,011,000	2,812,713	2,888,000
	一般財源	2,263,516	2,692,732	2,353,243
	一般会計繰入金			
	人件費(報酬等) (千円)			
	人件費 (千円)			
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	21,167	19,344	316,327
決算	16,777	16,441	
人件費(A)	88,520	87,120	113,940
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	105,297	103,561	430,267

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
汚水衛生処理率	%	94.0	目標	85.4	86.8	88.0
			実績	84.3	85.0	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

政策の指標である汚水衛生処理率は目標に届かなかったが、下水道水洗化(接続)率は、職員及び業務委託による訪問勧奨等の取り組みにより目標を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	366,354	263,014	11.6	5.4	0.5	0.5
2	浜松市下水道事業(資本的支出)					63,913	53,313	1.0	1.0		
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						430,267	316,327	12.6	6.4	0.5	0.5

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)の向上を図るとともに、適正な宅内排水設備施工のため指定工事人に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を行う。

◇事業の概要

○水洗化促進事業

・職員による訪問勧奨の実施

○宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業

・指定工事人を対象とした技術講習会の実施

○宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務

・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	21,167	19,344	263,014
	決算	16,777	16,441	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	16,777	16,441	263,014
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		88,520	87,120	103,340
人工	正規	10.2	10.0	11.6
	再任用(h31)	2.2	2.2	5.4
	再任用(h26)	3.0	3.0	0.5
	非常勤	0.5	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水道水洗化(接続)率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	94.8	95.2	95.6			97.0
実績値	94.8	95.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 水洗化促進事業
 - ・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施
- 宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業
 - ・指定工事人を対象とした技術講習会の実施
- 宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務
 - ・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

訪問勧奨は職員等7,114戸、業務委託2,515戸、合計9,629戸を実施した。また、排水設備指定工事人を対象とした技術講習会を開催する等、適正な宅内排水設備の施工及び下水道使用に関する技術的指導を行なった。これらの取り組みにより、水洗化率は対前年比で0.4ポイント向上し目標とした95.2%を達成。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・宅内排水設備工事の受付、検査業務の一部を委託するため受託業者と業務内容の確認と引継ぎを行った。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き職員による戸別訪問を実施し下水道事業の役割の啓発に力点を置きながら丁寧な接続勧奨を実施する。
 なお、これまでの取組により未接続戸数は着実に減少しているため、訪問戸数も減少し事業費の縮小が見込まれる。

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道使用料の増収を目的に、下水道未接続者への接続勧奨強化に取り組み、下水道事業の財政基盤強化を図る。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5001
 取組事項名 下水道水洗化率(接続率)の向上
 個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	戸別訪問(戸数) ※H27、28、29は 業務委託による訪問戸数含む	計画値	9,500	9,500	8,000	7,000	3,000(H40)
		実績値	9,742	9,629			
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)		累積	6,169	17,652	24,252	39,852	87,925

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成28年度】

訪問勧奨は職員等7,114戸、業務委託2,515戸、合計9,629戸を実施した。
 これらの取り組みにより水洗化率は対前年比で0.4ポイント向上し目標とした95.2%を達成。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道の整備にかかる建設費を受益者負担金として徴収を行う。

◇事業の概要

・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			53,313
	決算			
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源			53,313
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				10,600
人工	正規			1.0
	再任用(h31)			1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

下水道受益者負担金については、下水道事業の役割の啓発に努めるとともに、収納率を維持するため、滞納者に対する督促、催告等を継続して行っていく。

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浄化槽普及費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	467,142	468,958	488,525
決算	427,243	421,929	
人件費(A)	27,000	17,100	23,300
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	454,243	439,029	511,825

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
汚水衛生処理率	%	94.0	目標	85.4	86.8	88.0
			実績	84.3	85.0	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている
政策の指標である汚水衛生処理率は85.0%と目標に届かなかったが、前年度対比で0.7ポイント上昇しており、汚水処理システムの概成に向けて着実に進捗している。目標達成のためには市民に費用負担を求めることになるため、各事業を継続展開して、市民の理解・協力を得ることが不可欠である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浄化槽維持管理事業					10,290	1,790	0.7	1.0		
2	合併処理浄化槽普及啓発事業					9,816	616	0.8	1.0		
3	浄化槽助成事業		〇〇			491,719	486,119	0.8			
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						511,825	488,525	2.3	2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浄化槽維持管理事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽が本来の機能を発揮し、汚水処理システムの役割を果たすためには、浄化槽法に基づいた適正な維持管理が不可欠であるため、浄化槽関連業に関する事務を適正に執行するとともに、維持管理状況等を把握するための管理台帳を整備する。

◇事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
 浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。
 浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施
 平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。
 届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S60	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,777	2,669	1,790
	決算	2,509	2,456	
	国・県支出			
	市債			
	その他	1,508	432	574
	一般財源	1,001	2,024	1,216
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		11,400	8,200	8,500
人工	正規	1.0	0.8	0.7
	再任用(h31)	0.5		1.0
	再任用(h26)	1.0	1.0	
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
保守点検契約率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値	94.5	93.6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。
浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施
平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。
届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

保守点検契約率は93.6%と目標に届かなかったが、保守点検契約基数比較では、前年度から0.5%程度の減にとどまっており、また、合併処理浄化槽の保守点検契約基数は増となっている。
なお、未契約の浄化槽が判明した場合には、浄化槽管理者(市民)へ維持管理を啓発するほか、関係業者への指導も行っており、適正な浄化槽の維持管理につながっている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務は、適正な維持管理を担保するうえで不可欠であるため、保守点検業者講習会を行い、事業者の知識・技術の向上を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

保守点検業者講習会の内容を適宜見直すことで、事業者の知識・技術の積み上げを図っていく。

事業シート (事業名) 合併処理浄化槽普及啓発事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及には市民の理解、協力が不可欠であることから、市民の汚水処理に対する関心を高めるため、戸別訪問などの普及啓発事業を展開する。

◇事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導

下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。

浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。

○普及啓発事業の開催

生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。

○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発

浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	811	658	616
	決算	462	544	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	462	544	616
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,400	3,300	9,200
人工	正規		0.1	0.8
	再任用(h31)	0.5		1.0
	再任用(h26)	1.0	1.0	
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
戸別訪問件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績値	3,710	2,553				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導
 下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。
 浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。

○普及啓発事業の開催
 生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。

○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発
 浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

戸別訪問件数は目標を2,553件と目標を下回ったが、これは再任用職員の減となったため。訪問件数は年度内の計画どおりに達成している。
 対象地区の選定にあたっては、浄化槽設置費補助金の増額幅が大きい地域を選定することで、効果的に合併処理浄化槽の設置促進を図った。
 しかしながら、対象となる浄化槽は約35,000基あり、全浄化槽管理者を訪問するには相当の期間が必要となるため、戸別訪問と並行して、郵送や地域のイベントなどを活用して広く周知啓発をしていく必要がある。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への設置替えには法的義務がないことから(努力義務)、合併処理浄化槽の普及を促進するには、市民の主体的な行動を促す必要があるため、市民への周知・啓発を強化した。
 ・再任用職員を配置し、戸別訪問による周知啓発を促進した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

これまでの取り組みを継続的に実施するとともに、浄化槽管理台帳の情報を活用して啓発の対象を選定するなど、効率的かつ効果的な啓発の手法を検討していく。

事業シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業目的・事業対象

汚水処理の早期概成のためには、下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽の普及促進が不可欠である。しかしながら、浄化槽設置費用の負担が合併処理浄化槽の普及が進まない主な要因となっている。このため、浄化槽設置者に対して補助金を交付することによって、市民の負担を軽減し、合併処理浄化槽の普及を促進させる。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.72】

○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。
 水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	463,554	465,631	486,119
	決算	424,272	418,929	
	国・県支出	129,771	118,565	98,804
	市債	280,300	285,100	340,300
	その他			28,600
	一般財源 一般会計繰入金	14,201	15,264	18,415
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		11,200	5,600	5,600
人工	正規	1.6	0.8	0.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
合併処理浄化槽設置基数						72
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	21,100	22,400	23,700	25,000	26,300	32,800
実績値	20,245	21,233				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.72】
 ○浄化槽設置整備事業
 下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。
 水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 合併処理浄化槽設置基数は目標値の22,400基に届かなかったが、設置基数は21,233基と、前年度比較で988基の増となり、着実に合併処理浄化槽の普及が進んでいる。
 また、平成27年10月より、補助制度を改正し、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽へ設置替えする市民に対する補助限度額を増額したことにより、設置替えに対する補助基数が390基と、前年度比較で105基の増となり一定の効果が得られた。
 しかし、補助限度額を増額しても、市民には費用負担が生じるため、設置基数を増加させるためには、助成制度を維持するとともに、設置者の理解を高める必要がある。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- 改正補助要綱に伴い、設置替えに対する取り組みの重点化を図るとともに、適正な補助金執行に努めた。
- 平成27年10月1日交付決定分からは、下記のとおり補助制度を改正した。
 - 設置替えに対する補助限度額を増額した。
 - 新設（建築確認申請を伴うにももの）に対する補助限度額を減額した。
 - 水域区分を廃止し、全ての地域で補助限度額を統一した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- 現行の浜松市浄化槽設置補助金交付要綱は平成29年度までの補助金に適用する。平成30年度以降についても、合併処理浄化槽への設置替え促進のため、現行補助制度を継続するとともに、効果を検証していく。

補助シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
72	合併処理浄化槽設置基 数 21,100基	合併処理浄化槽設置基 数 22,400基	合併処理浄化槽設置基 数 23,700基	合併処理浄化槽設置基 数 25,000基

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	5,883,972	6,668,656	7,053,513
決算	5,506,826	6,846,067	
人件費(A)	324,000	317,000	296,600
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,830,826	7,163,067	7,350,113

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
基幹管路の耐震化適合率	%	90	目標	80.6	84.1	87.7
			実績	83.4	87.5	
下水道人口普及率	%	82	目標	79.9	80.1	80.4
			実績	80	80.1	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

下水道の整備では、下水道人口普及率が目標80.1%に対し実績80.1%であった。また、現状施設の耐震化、改築・更新事業を実施し、基幹管路の耐震化適合率は目標84.1%に対し実績87.5%であった。維持管理においては、浜松市下水道管路維持管理計画(管路調査編)に基づいた計画的な巡視及び点検・調査を実施した。今後については、中長期的な施設更新の事業平準化を目的としたストックマネジメントを策定し、効率的な改築更新を実施するとともに、交付金制度の積極的な活用を進めていきたい。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	469,600	434,600	5.0			
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	6,880,513	6,618,913	37.0		1.0	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						7,350,113	7,053,513	42.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

・下水道管きよの適正な維持管理

◇事業の概要

○管きよ維持管理事業

- ・予防保全型の維持管理の実施
- ・教育現場等への積極参加

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法等	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	343,718	417,269	434,600
	決算	337,781	397,115	
	国・県支出			
	市債			
	その他	105	1	1
	一般財源	337,676	397,114	434,599
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		42,000	35,000	35,000
人工	正規	6.0	5.0	5.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 管きょ維持管理事業
- ・予防保全型の維持管理の実施
- ・教育現場等への積極参加

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松市下水道管路維持管理計画(管路調査編)に基づき、計画的な巡視及び点検・調査を実施した。
- ・小学校を対象とした下水道教室を市内101校のうち89校(88.1%)で開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工
浜松市下水道管路維持管理計画(管路調査編)に基づき、計画的な巡視及び点検・調査を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工
維持管理する施設が増大する一方であるため、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

- ・快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化

◇事業の概要

- 地震対策事業
 - ・基幹管路や処理場、ポンプ場等の耐震化の推進
- 施設及び管きよ改築更新事業
 - ・処理場、ポンプ場、管きよの長寿命化計画に基づく改築・更新の実施
- 未普及対策事業(管きよ整備・施設整備・取付管設置)
 - ・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
- 浸水対策事業
 - ・関連部署と連携した内水対策の推進(ハード対策)及び浸水被害軽減対策の推進(ソフト対策)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法等	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,540,254	6,251,387	6,618,913
	決算	5,169,045	6,448,952	
	国・県支出	2,095,434	2,219,409	2,323,755
	市債			
	その他	301,461	177,724	583,524
	一般財源	2,772,150	4,051,819	3,711,634
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		282,000	282,000	261,600
人工	正規	39.0	39.0	37.0
	再任用(h31)	1.0	1.0	
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0
	非常勤	1.0	1.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管渠の耐震化率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	80.6	84.1	87.7			90.0
実績値	83.4	87.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
下水道人口普及率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	79.9	80.1	80.4			82.0
実績値	80.0	80.1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
下水道人口普及率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
下水道人口普及率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・基幹管路や処理場、ポンプ場等の耐震化及びマンホールの浮上防止対策の実施 [決算3,209,823千円(うち前年度繰越1,147,000千円)]
- ・処理場、ポンプ場、管きよの長寿命化計画に基づく改築・更新の実施
- ・市街化区域及び整備効率の高い下水道未普及地区への下水道管きよの整備 [決算1,359,242千円(うち前年度繰越409,434千円)]
- ・市街地の浸水対策のため、関係部署と連携して雨水きよ及び排水ポンプの整備を実施、市中心部を対象とした内水ハザードマップを作成 [決算673,507千円(うち前年度繰越205,812千円)]
- ・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収

・事業の成果と課題

指標の達成度

下水道基幹管路の耐震化適合率については、下水道整備済区域内の防災拠点と下水処理場・ポンプ場とを結ぶ管きよの総延長に対して、診断及び対策により耐震性能が確保されている管きよの延長の割合であり87.5%、また、下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり80.1%となり、いずれも計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市下水道総合地震対策計画に基づく地震対策の推進及び浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

来年度以降、西遠処理区の施設運営におけるコンセッション(官民連携)事業、浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、地震対策に関する計画策定等により更なる事業の効率化を図るとともに、社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の積極的活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇取組概要

行財政基盤の強化に向けて、下水道受益者負担金の収納向上、管更生工法の採用・小口径マンホールの積極的採用による改築・建設経費の見直し等により、下水道事業全般におけるコストの縮減を進める。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____
 取組事項名 _____
 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	下水道受益者負担金収納率 (%)	計画値	99	99	99	99 (H30)	
		実績値	99	99			
2	管更生工法採用延長(m) ※最終値は4年間の累計	計画値	1000	1000	1000	4000	
		実績値	1884.4	2025.3			
3	小口径マンホール設置箇所数(箇所) ※最終値は4年間の累計	計画値	50	50	50	200	
		実績値	87	71			
効果額(千円)		加算	82,367	45,194	45,193	45,192	217,946

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》
 【平成28年度】下水道受益者負担金収納率については、滞納者に対する督促、催告等を計画通りに行った。管更生工法、小口径マンホールについても可能な箇所は積極的な採用ができたため、累計値は当初の予定以上に前倒した進捗とコストの縮減が図られている。

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営する。また、適正な放流水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。

・温室効果ガス排出量の削減。
中部浄化センター・館山寺浄化センターのエネルギー使用量(使用電力量)の合計量で、毎年1%以上、平成25年度を基準に平成32年度までに12%削減する。

・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入。

・下水汚泥の100%再生利用の継続。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,428,702	3,142,009	3,271,758
決算	1,355,369	3,077,140	
人件費(A)	202,400	206,200	199,200
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,557,769	3,283,340	3,470,958

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
エネルギー使用量削減率(対H25年度比)	%	12(H32)	目標	12(H32)	12(H32)	12(H32)
			実績	8.0	11.8	
下水処理場への流入水質異常件数	件	0	目標	0	0	0
			実績	0	0	
下水汚泥の100%再生利用	%	100	目標	100	100	100
			実績	100	100	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営した。また、下水処理場への流入水質異常は発生しなかった。

・温室効果ガス排出量の削減。
下水道施設からの温室効果ガス排出量として、中部・館山寺浄化センターの使用電力量を平成25年度比から、11.8%削減できた。

・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入。

・下水汚泥の100%再生利用を継続中。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・西遠浄化センター維持管理業務、ポンプ場維持管理業務、中部浄化センター維持管理業務、館山寺・湖東浄化センター等維持管理業務、細江浄化センター他施設運転管理業務の5委託業務(包括委託業務レベル1.5、西遠浄化センターは3.0)について、業務完了報告書やセルフモニタリング等の検証により適正に委託業務が履行されていることを確認した。

・温室効果ガス発生量に関しては、概ね順調に削減できた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	3,470,958	3,271,758	25.0	6.0	1.0		
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,470,958	3,271,758	25.0	6.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営し、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。

◇事業の概要

- ・市内17箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬萊園、弁天島、西ヶ崎、金指、浜名、阿蔵)のポンプ場施設の維持管理事業
- ・浜松市地球温暖化対策実行計画書に記載されている、大規模施設である中部・館山寺浄化センターのエネルギー使用量(電力)を前年度比1%削減し、平成25年度を基準に平成32年度までに12%削減する。
- ・市内7箇所(西遠、中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場から排出される放流水の適正な水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
- ・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,428,702	3,142,009	3,271,758
	決算	1,355,369	3,077,140	
	国・県支出			
	市債			
	その他	271,814	334,594	346,843
	一般財源	1,083,555	2,742,546	2,924,915
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)				
人件費(千円)		202,400	206,200	199,200
人工	正規	27.0	26.0	25.0
	再任用(h31)	3.0	6.0	6.0
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
中部・館山寺浄化センターのエネルギー使用量(電力)削減率(対H25年度比:%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	12(H32)	12(H32)	12(H32)			12(H32)
実績値	8.0	11.8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水処理場への流入水質異常件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	0	0			0
実績値	0	0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水汚泥の100%再生利用(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	100	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・市内17箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ヶ崎、金指、浜名、阿蔵)のポンプ場施設の維持管理事業
- ・浜松市地球温暖化対策実行計画書に記載されている、大規模施設である中部・館山寺浄化センターのエネルギー使用量(電力)を前年度比1%削減し、平成25年度を基準に平成32年度までに12%削減する。
- ・市内7箇所(西遠、中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場から排出される放流水の適正な水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
- ・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中部浄化センターと館山寺浄化センターとの合算した全体では、前年度比3.8%、平成25年度比で11.8%と目標値を満足した。
- ・各下水処理場への流入水質に異常が発生することもなく、適正な放流水質を維持できた。
- ・下水汚泥については、セメント原料化や堆肥化などにより、100%の再生利用を継続した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・ 公共下水道への接続促進
- ・ 公共下水道マンホール等の維持管理
- ・ 公共下水道取付管申請による取付管の設置

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	65,554	78,529	73,503
決算	64,398	68,352	
人件費(A)	49,000	49,000	49,000
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	113,398	117,352	122,503

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
下水道水洗化(接続)率	%	97	目標	94.8	95.2	95.6
			実績	94.8	95.2	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 公共下水道への接続促進
- ・ 公共下水道マンホール等の維持管理
- ・ 公共下水道取付管申請による取付管の設置

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
下水道水洗化(接続)率は、職員及び業務委託による訪問勧奨等の取り組みにより目標を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	13,790	6,790	1.0				
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	108,713	66,713	6.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						122,503	73,503	7.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)の向上を図るとともに、公共下水道施設の維持管理を行う。

◇事業の概要

- 水洗化促進事業
 - ・職員等による訪問勧奨の実施
- 管きよ維持管理事業
 - ・マンホール蓋等の下水道施設修繕業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	7,562	11,691	6,790
	決算	7,421	11,346	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,421	11,346	6,790
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水道水洗化率(接続)率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	94.8	95.2	95.6			97.0
実績値	94.8	95.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 水洗化促進事業
- ・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施
- 管きよ維持管理事業
- ・マンホール蓋等の下水道施設修繕業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

訪問勧奨は職員等7,114戸、業務委託2,515戸、合計9,629戸を実施した。また、排水設備指定工事人を対象とした技術講習会を開催する等、適正な宅内配水設備の施工及び下水道使用に関する技術的指導を行った。これらの取り組みにより、水洗化率は対前年比で0.4ポイント向上し目標とした95.2%を達成。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・宅内排水設備工事の受付、検査業務の一部を委託するため受託業者と業務内容の確認と引継ぎを行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き職員による戸別訪問を実施し下水道事業の役割の啓発に力点を置きながら丁寧な接続勧奨を実施する。

なお、これまでの取り組みにより未接続戸数は着実に減少しているため、訪問戸数も減少し事業費の縮小が見込まれる。

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道使用料の増収を目的に、下水道未接続者への接続勧奨強化に取り組み、下水道事業の財政基盤強化を図る。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5001
 取組事項名 下水道水洗化率(接続率)の向上
 個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	戸別訪問(戸数)※H27、28、29は 業務委託による戸別訪問を含む	計画値	9,500	9,500	7,000	7,000	3,000(H40)
		実績値	9,742	9,629			
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)		累積	6,169	17,652	24,252	39,852	87,925

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成28年度】

訪問勧奨は職員等7,114戸、業務委託2,515戸、合計9,629戸を実施した。
 これらの取り組みにより水洗化率は対前年比0.4ポイント向上し目標とした95.2%を達成。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 公共下水道取付管の設置 事業対象 公共下水道管きよ

◇事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業) 施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	57,992	66,838	66,713
	決算	56,977	57,006	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	56,977	57,006	66,713
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		42,000	42,000	42,000
人工	正規	6.0	6.0	6.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業)
施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業を継続する。

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。
また、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	621,251	516,984	313,359
決算	584,415	497,815	
人件費(A)	42,880	52,520	52,520
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	627,295	550,335	365,879

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
下水道人口普及率	%	82.0	目標	79.9	80.1	80.4
			実績	80	80.1	
汚水衛生処理率	%	94.0	目標	85.4	86.8	88.0
			実績	84.3	85	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。
また、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行う。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

- ・ 下水道の整備では、下水道人口普及率が目標80.1%に対し実績80.1で目標を達成した。
- ・ 既設下水道施設の維持管理においては、4処理場の包括的民間委託による運転管理を実施し、施設の適正な維持管理につとめた。
- ・ 汚水衛生処理率は、目標に届かなかったが、下水道水洗化(接続)率は、職員による訪問勧奨等の取組みにより目標を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	175,284	148,124	3.6			0.7
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	190,595	165,235	3.4		0.6	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						365,879	313,359	7.0		0.6	0.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

管きょ、マンホールポンプ等の施設の適正な維持管理及び、4地区の終末処理場を適正に維持管理することにより、地域の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)向上を図る。

◇事業の概要

- 管きょ維持管理事業
 - ・管きょ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- 終末処理場維持管理事業
 - ・4箇所に点在する終末処理場を適正に維持管理する。
- 水洗化促進事業
 - ・職員による訪問勧奨の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	131,949	134,383	148,124
	決算	126,354	126,847	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	126,354	126,847	148,124
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		22,420	27,160	27,160
人工	正規	2.7	3.6	3.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.6		
	非常勤	0.7	0.7	0.7

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水道水洗化(接続)率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	94.8	95.2	95.6			97.0
実績値	94.8	95.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 管きょ維持管理事業
 - ・管きょ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- 終末処理場維持管理事業
 - ・4箇所 に 点 在 する 終 末 処 理 場 を 適 正 に 維 持 管 理 する。
- 水洗化促進事業
 - ・職員による訪問勧奨の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・マンホールポンプ、グラインダーポンプ(22箇所)及び管路施設(9箇所)の修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ・4箇所の終末処理場運転管理及び施設修繕(19箇所)を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ・訪問勧奨は、9,540戸(内天竜管内719戸)を実施し、これらの取組みにより、水洗化率は、対前年比で0.4ポイント向上し目標とした95.2%を達成した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄化センターの運転管理については、包括的民間委託により実施している。
経年劣化に伴う施設の修繕が必要な箇所が多く見られる。
職員による訪問勧奨を実施し、目標とした水洗化率を達成した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

維持管理する施設が増大しているため、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。

◇事業の概要

- 未普及対策事業(管きょ整備、取付管設置)
 - ・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
- 施設改築更新事業
 - ・処理場の長寿命化計画に基づく改築・更新の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	489,302	382,601	165,235
	決算	458,061	370,968	
	国・県支出	193,590		
	市債	238,024		154,772
	その他			
	一般財源	26,447	370,968	10,463
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		20,460	25,360	25,360
人工	正規	2.7	3.4	3.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.6	0.6	0.6
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
下水道人口普及率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	79.9	80.1	80.4			82.0
実績値	80.0	80.1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・市街化区域及び整備効率の高い下水道未普及地区への下水道管きよの整備
- ・処理場の長寿命化計画に基づく改築・更新の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり、80.1%となり、計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

下水道未普及地区の整備については、浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

来年度以降、浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、地震対策に関する計画策定等により更なる事業の効率化を図るとともに、社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の積極的活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
 (予算費目名) 農業集落排水事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。
 農業集落排水施設の公共下水道への接続は、緑恵台は、接続統合に向けて整備を進め、その他4地区については、平成28年度に策定した最適整備構想をふまえ、今後の公共下水道への接続について検討していきたい。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	219,000	192,000	212,000
決算	197,642	191,242	
人件費(A)	14,120	14,120	17,640
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	211,762	205,362	229,640

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
農業集落排水地区数	地区	4	目標	5	5	5
			実績	5	5	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。
 農業集落排水施設の公共下水道への接続は、緑恵台は、接続統合に向けて整備を進め、その他4地区については、平成28年度に策定した最適整備構想をふまえ、今後の公共下水道への接続について検討していきたい。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
緑恵台の公共下水道への接続統合に向けた管更生工事L=482.8mを実施した。 4地区の施設のストックマネジメントにおける、最適整備構想を策定した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	農業集落排水事業					229,640	212,000	2.4			0.3
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						229,640	212,000	2.4			0.3

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 農業集落排水事業

◇事業目的・事業対象

農業集落排水処理施設から排出される生活排水、し尿を処理することで、農村の生活環境の向上と公共用水域の水質の改善を図り、施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②緑恵台農業集落排水処理施設の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事(H27～H29)及びマンホール蓋取替工事(61箇所)を施工する。
- ③緑恵台地内の管路実施設計業務委託を実施する。
- ④農業集落排水事業に充当した公債費の執行。
- ⑤緊急時に対応するための予備費の執行。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	特別会計	自治事務(法令義務)	土地改良法、農業集落排水処理施設条例、農業集落排水事業分担金徴収条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	219,000	192,000	212,000
	決算	197,642	191,242	
	国・県支出	8,000	6,000	
	市債	39,600	33,000	27,500
	その他	38,296	37,386	40,424
	一般財源	127	2,540	105
一般会計繰入金		111,619	112,316	143,971
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		14,120	14,120	17,640
人工	正規	1.6	1.6	2.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)	0.8	0.8	
	非常勤	0.3	0.3	0.3

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
農業集落排水地区数 (地区)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	5	5			4
実績値	5	5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②緑恵台農業集落排水処理施設の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事を施工する。(H27～H29)
- ③4地区の施設のストックマネジメントにおける、最適整備構想を作成する。
- ④農業集落排水事業に充当した公債費の執行。
- ⑤緊急時に対応するための予備費の執行。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①点在する5処理場施設の運転管理及び、施設の修繕工事(17箇所)を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ②緑恵台の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事L=482.8mを実施した。
- ③4地区の施設のストックマネジメントにおける、最適整備構想を策定した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

処理場施設の修繕工事においては、施設の老朽化が進み、突発的な修繕工事が発生し、計画していた修繕工事を先送りとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

ストックマネジメント(最適整備構想)を策定し、公共下水道への接続統合を検討していく。
最適整備構想の結果により、交付金事業を対象とした施設の改築更新事業を検討していく。